http://hakodate-east.bfweb.jp/

ロータリーは機会の扉を開く
ホルガー・クナーク
国際ロータリー2020-21年度会長

第2510地区 第11グループ
函館東ロータリークラブ

会報 2020~2021

●例会場／ホテル函館ロイヤル TEL(0138)26-8181(代)
●例会日／毎週火曜日　12：30～13：30
●事務所／ニチロビル4F TEL(0138)23-3870 FAX(0138)22-2251
●会長／佐藤真一　●副会長／吉川達也
●幹事／新保栄子
●友好クラブ／長崎東ロータリークラブ

第3038回　9月15日(火)

本日のプログラム	「佐藤・新保丸 出航夜間例会」 於：ホテル函館ロイヤル
次週のプログラム 9月22日(火)	「 祝 日 休 会 」

第3037回例会　2020年9月8日(火) 天候　晴　　月間テーマ　基本的教育と識字率向上月間 ロータリーの友月間

■ロータリーソング　我等の生業
■司　会　佐藤　真一　会長
■会長報告
１、理事会報告
■幹事報告
１、9月1日よりロータリーレートは１ドル105円から106円に変更になりました。
２、日本のロータリー100周年記念バッジについて
３、例会終了後、臨時理事会を開催いたします。

函館空襲から75年
『偲びくさ』を作成して

『偲びくさ』執筆者　小野　孝良 会員

昭和20年7月14日・15日 戸井空襲時の体験記

昭和20年7月14日の初夏の爽やかな朝、いつものように、祖父（母の父）祖母（父の母）と兄姉妹5人が、社務所裏の洗面所で、津軽海峡と武井ノ島を眺めながら顔を洗っていた。

その時、突然黒い戦闘機6機が低空飛行で目の前を飛んでいった。2・3分すると今度は、裏山の神社の方から飛んできた。よく見ると操縦者が、白い歯を出して笑った顔がこっちを見て行った。
祖父が、“あれはユーグン機だ”と叫ぶので、“ユーグン機って何”と聞くと“味方の飛行機だよ”と言う。“では今度来たら「万歳」をしよう”と顔を洗った白い手拭いを手に待ち構えていたら、一回目と同じ方向から飛んできた。目の前を通った時皆んなで一斉に手拭いを振って“万歳、万歳”と叫んだ。

ところがこの飛行機に向かって裏山の戸井要塞から、突然機関銃が、ダ、ダ、ダと打ち込んできた。すると一転この6機が、蜂の巣を突いたように、町を目掛けて機銃繰射を浴びせてきた。後で知ったがこの飛行機はアメリカのグラマンであった。

吾々家族は防空壕に逃げ込んだ。この防空壕は、五日ほど前、父と僕とで急ごしらいに造ったもので、畳二枚程の穴を掘り、その上に戸板を被せて土を盛った簡単なものであった。この防空壕に祖母、伯母、僕、妹三人計六人が入った。この時分父は十日から十四日まで、兼務社である原木、瀬田来、汐首、釜谷神社の例祭中で留守であった。一方母は、父がお祭りで留守になる前に、大沼の実家の病弱な祖母を見舞ってこようと、妹三人を連れて、自動車乗合所でバスを待っていたら、突然具合が悪くなり、そこで氷水を頂いたが、おもわしくなく旅行を中止した。

地元の長谷川病院の先生に診てもらったが、原因が解らず函館の堀口叔父の紹介で、函館病院の先生に診てもらったら「腸チフス」と診断された。腸チフスは恐ろしい伝染病である。避病院に隔離しなければならない。この避病院は、これまで殆ど使用されていないから荒れ放題になって入院させる建物ではなかった。

そこで、人家から離れた高台に在るこの社務所で仕方ないだろうと、役場の指示で我が家で養生することになった。このような訳で我々六人が防空壕に退避し、母は不可能であるから、母の周りに畳を前後左右、上に積重ね防壁を造り、祖父を付き添として一人家に残ってもらった。

防空壕に入ってると、グラマンが町中を飛び廻り、三発の爆弾を落した。続いて一発の爆弾が近くに落ちた。先述した通り名ばかりの防空壕だから天井板の間から盛砂がドサッと落ちてきた。祖母は“神様助けて神様どうか我々をお助け下さい”と地面に頭を擦りつけ手を合わせて一生懸命祈っている。家で母を守っている祖父は得意の指笛でピーピーピと何度も「助けてー」なのか「大丈夫だぞー」なのか意味の解らない指笛を吹いていた。

グラマンの音が聞こえなくなったので、皆が壕を出て、下の町を見ると東浜町の家が五軒火事でもえている。又、近くに落ちた一発の爆弾は、我が家より二百メートル程の所に在る宇美「綿屋」の主人が家の前の崖下で、一人で入る通称「たこ穴」を掘っていた。その崖の上に一発の爆弾が落ちその崩れた崖に埋って死んだという痛ましい事故があった。

この日午後二時、家の前の津軽海峡を駆逐艦に似た軍艦が通って行った。誰ともなしに、“今ここを通って行ったら、あのグラマンにやられるぞ”と云っていたら案の定、あのグラマンがやってきた。

黒豹が獲物に襲いかかるように、艦の前後から中央の機関部を目がけて、爆弾の集中攻撃が始まった。最初艦からも機関銃で応戦してたようだがぜんぜん歯がたたない。二十分程の交戦の果て、遂に艦の中央部が二つに折れ、くの字になって沈没して行った。

かの日本海海戦もさこそと、興奮して見ていたが、残念な結果で終わった。この艦の死者、負傷者多数が、瀬田来、汐首の浜に流され、その看病に長谷川先生が診察に行ってたので、その日の母への往診は叶わなかった。

この交戦後、津軽海峡を函館方面から五、六隻の沈没船がマストだけ突出して海面を漂流してきた。

戦争が終わって五、六年経っても、東浜町宇美家の前浜に大きな独航船が、無残な姿で放置されていた。この惨めな船を見る度にあの忌わしく悲しい日が思い出され墓標に見えたものです。

十四日の夕方、瀬田来の例祭に行っていた父が、素頓狂な姿で家に帰るなり、大変だ！今、室蘭が、艦砲射撃に遭っていて、直くこの戸井にやって来る。今戸井の町には、犬猫一匹、人は皆山に逃げて一人も居ない。そこで我々は明日の朝早く大野に逃げるから、皆その準備をするように、明日からの、汐首と釜谷のお祭は中止になったとのことです。

そこで父は先ず、一番大事なご神体を奉持して避難するため神社に行って、唐草の一反風呂敷にご神体を奉持してきた。それから、逃走用の自転車とリヤカーを借りに、無人になっている宇美家に行く。次に何時この家に戻ってくるか解らないので、貴重品と当座必要な物だけ持って、後は前庭の空井戸に入れて戸締まりはしっかりとした。

七月十四日快晴　六時起床　七時出発

◎自転車班／祖父（77才）大沼、沼の家頭首堀口亀吉　孝良（14才小学6年）　菅子（7才）

◎リヤカー班／父（41才）宮川神社社司小野孝徳　祖母小野フサ（60才）伯母中沢アキ（36才）幾子（11才小学3年）道子（4才）

この班制でいよいよ大野に向かって出発。汐首の灯台下の急な坂道を下った処に郵便局がある。ガラスは散乱、局はまだ昨日の空襲でくすぶっていた。ここを少し過ぎたとき、空襲警報のサイレンが鳴った。道端に舟を陸揚げをするウインチが入っている小さな小屋があった。自転車班はここに身を隠す。解除になったので、十五分程走り出した釜谷で又サイレンが鳴った。今度は、山路に入る処にドンゲの生い茂った藪があったので、そこで身を隠す。ここを出て小安に入ったら又サイレンが鳴った。同じドンゲの藪中に隠れていたら、郭公が鳴いていた。この長閑な声で暗い心が癒された。

……〈　中　略　〉……

リヤカー班は戸井から大野まで一昼夜かけて十六日の朝方、大野に着いた。母は大野に行っても家に寝ること叶わず、裏の味噌倉で療養する事になった。四、五日して文月にある避病院に移った。この日から病弱ながら大沼から祖母が看護にきた。

我々子供達は母に逢いたくても中々逢わしてもらえなかった。暫くたって七月の末、僕と妹の幾子、菅子の三人が尋ねて行った。末の妹道子は先天性心臓弁膜症のため参加出来なかった。避病院の廻りは芋畑で、丁度芋掘りの最中であった。“母さんこの病院の廻りが芋畑で、今丁度芋掘りの最中だよ”と伝えたら“もう芋掘りの時季かい、その掘った芋食べたいネ”と弱々しい声で言ったのが母との最期の会話であった。

……　略　……

2020年（令和2年）7月14日（火曜日）　北海道新聞

函館空襲から75年

戦闘機からの逃避 克明に

1945年（昭和20年）7月14、15日の函館空襲から、きょうで75年。函館・大森稲荷神社の宮司小野孝良さん（86）が函館空襲の自らの実体験をまとめた冊子「思ひくさ」を制作した。戸井地区から旧大野町まで、何度も空襲を逃げながら、命からがら逃げた様子などを克明に記している。（菊池真理子）

大森稲荷神社　小野宮司が冊子

「夏にカッコウが鳴くと、あの日のことをこの間のように鮮明に浮かぶほど、強烈な記憶に思い出す。家族の表情まで」

祖父、妹と命がけ「子や孫へ伝えなければ」

函館空襲について自身の経験を冊子に書き残した小野さん。「函館にもこんな時代があったと書き残したかった」と語る（中本博撮影）

■ニコニコボックス

佐藤真一会長、新保幹事　小野会員、本日の卓話宜しくお願いします。

吉村会員、番場会員、安保会員、中村会員、安田会員　月初めです。

國谷会員　松山会員お元気そうで。

黒島会員　松山会員ごぶさたです。

小野会員　本日の卓話を務めさせて頂きます。

五十嵐正会員　お久しぶりです。

■広告料

協同組合函館労務協会　黒島一生会員

くにや司法書士法人　國谷大輔会員

函館熱水機器管理㈱　五十嵐正会員

■出席報告

・９月８日（火）　会員38名中　出席28名

・８月25日（火）　71.05％

市内他クラブ　プログラム

9月16日㈬	函館北ＲＣ	卓話
9月17日㈭	函館ＲＣ	卓話
9月18日㈮	函館五稜郭RC	卓話
9月21日㈪	函館亀田ＲＣ	祝日休会

◆ テレフォンサービス　26-3170 ◆

㈲フォトスタジオ嵯峨
松井　明子　会員
富岡町3丁目27−15　電話 45−1276

㈱エイワアルミ産業
松山　茂　会員
美原1丁目45−14　電話 42−0387